

大公開!

指導と評価 実践レポート

岐阜県恵那市立岩邑小学校

郷土の偉人に学び

スピリット

その精神を実践する



かつて、西郷隆盛が座右の銘とし、近くは、時の首相が国会の答弁で引用したことから
広く知られることとなった、江戸時代末期の儒学者・佐藤一斎の訓え※。
その先人の郷里、岐阜県の南東に位置する恵那市岩村町にある、岩邑小学校を訪ね、
その独自の教育内容や学力向上への取り組みなどを取材しました。

School DATA

ぎふけんえなしりついわむらしようがっこう
岐阜県恵那市立岩邑小学校



正面玄関前にある花菖蒲広場

(平成25年3月現在)

校長◎榎田 千史先生
児童数◎286名 学級数◎13学級
所在地◎〒509-7403 恵那市岩村町1524-1
TEL◎0573-43-2515 FAX◎0573-43-3723
統廃合や改名があるが、140年の歴史(明治6年創立)をもつ小学校

校舎の前に建てられた「知新門」の中には「釈奠の間」があり、孔子画像と佐藤一斎の訓えが書かれた木札が置かれている。

先人の偉業が

息づく学び舎

岩村町は、平安時代の後期に拓かれ、鎌倉時代初期には岩村城(日本三大山城の一つ)が築城されるといふ、歴史と伝統の香りや色合いが強くだやう城下町です。

岩邑小学校に着くとまず目を瞞るのはその校門の構え。まるで城の櫓門を思わせる造りです。

「この建物は、『知新門』といって1702年(元禄15年)創立の岩村藩の藩校『知新館』の正門を模して造られたものです。子どもたちは登校するとき、必ず石段を上り、この門をくぐって校舎に入るようになります」と話されるのは榎田千史校長先生。

「多大な費用をかけて造られたこの門の中には、孔子画像が掲げてあり、児童が『礼』や『仁』をわきまえ、落ち着いて学んでほしいという郷土の先人たちの願いや祈りが込められています」

また、孔子画像のそばに佐藤一斎の「我はまさに人の長所を視るべし 人の短所を視るなかれ」という教育者の戒めの言葉でしょうか、木札に書かれて置いてあります。

「この門をくぐり、正面玄関へ至る広い空間が、三好学の偉業を偲んで『花菖蒲広場』と呼ばれているのです」と校長先生の説明が続きます。

人や社会を導き、志を育てた郷土の偉人たちの精神は「ふるさと学習」として、副読本にもなつて子どもたちにも語り継がれているのです。

岩村町が生んだ偉人たち

- 佐藤一斎(1772~1859)
70歳で昌平坂学問所という江戸幕府の最高教育機関で教官となる。生涯学習論、リーダー論等を著した「言志四録」という随想録が有名。
- 下田歌子(1854~1936)
明治~大正期の歌人・教育家。幼少の頃から和歌を詠み、後に宮中で和歌を教えた。後年女子教育を説き、女学校の創設にも携わる。
- 三好学(1862~1939)
明治~昭和期の植物学者。東京帝国大学名誉教授。日本の植物学の基礎を築いた一人。桜や菖蒲の研究。天然記念物制度の提唱者。



佐藤一斎翁の肖像画と榎田千史校長先生

*榎田校長先生は平成25年3月をもってご退職になりました。4月からの校長先生は足立篤美先生です。

※「少にして学ばば、則ち壯にして為すことあり 壯にして学ばば、則ち老いて衰えず 老いて学ばば、則ち死して朽ちず」『言志四録』